



部品の高温リーク試験

高温のガス流通系で使用される部品に対し、リーク測定を実施いたします。

高温リーク試験の条件設定

● 装置、計測機器のカスタマイズ測定

ガス流通系で使用される部品(配管、継手、容器およびシール部品等)に対して、お客様の使用環境に近い状態に合わせた装置を適宜組み立て、リークの発生状況を流量、圧力またはHeリークディテクタ等で連続計測してリーク発生を計測いたします。

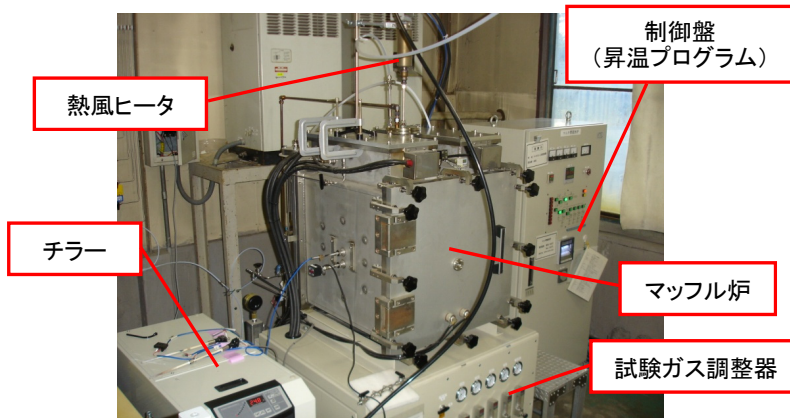
カスタマイズ条件例

- (1) 加熱炉: 部品の形状および大きさに合わせ、マッフル炉または管状炉を選択し使用いたします。
 最大試料サイズ: 250mm角(マッフル炉使用時)
 60mmφ×300mm(管状炉使用時)
- (2) 温度: 最高1000°Cまでの間、昇温プログラムでSTEP状に温度変化させることが可能です。
- (3) 雰囲気: O₂、CO₂、N₂およびHe等を混合したガス流通が可能です。炉内は減圧条件にすることが可能です。

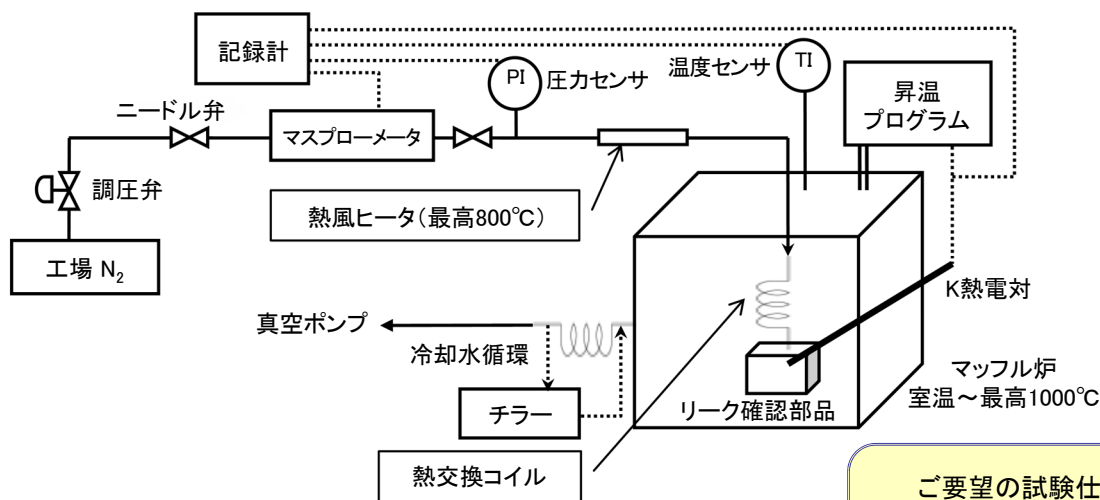
高温リーク試験の実施例

● 試験フローの一例

- ・リーク確認部品: 金属容器
- ・炉形式: マッフル炉
- ・温度: 室温~1000°Cのステップ昇温
- ・炉内雰囲気: 減圧下
- ・流通ガス: N₂
- ・計測: 圧力一定でのリーク流量測定



高温リーク試験装置外観



高温リーク試験のフロー図

ご要望の試験仕様・条件に合わせて試験装置、混合ガス等をカスタマイズして試験実施いたします。ご相談ください。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2017 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved. 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。